



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

R6 年度
冬号
VOL.63

◆耳鼻咽喉・頭頸部外科のご紹介

◆ひら^{Ten}10フェス報告



新年のご挨拶

林 道廣 (はやし みちひろ) 病院長

新年あけましておめでとうございます

平素より当院につきましては、格別のご高配を賜りありがとうございます。

昨年1月1日に発生した能登半島地震は、国民に大きな悲しみをもたらしました。被災された方々には、あらためて哀悼の意を表しますとともに、来たるべき大災害に備えて、私たちも地域医療の連携をさらに充実させるべき、という思いを強く致しました。

また、5年の長きにわたり猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症につきましては、当院は2020年1月31日の疑似症患者受入から2024年11月現在、新型コロナ陽性患者2,273名の入院治療を行ってきました。令和5年5月には感染症法上の5類に移行しましたが、今後もコロナを含めた新興・再興感染症から市民を守る“砦”となるとともに、元来、市民病院として当院に課せられた救急、小児・周産期医療、がん診療などの通常診療も両立すべく、一層の改善を重ねていきます。

あらためまして当院は、『心のかよう医療を行い、信頼される病院』を基本理念に、患者の皆様や地域との信頼関係を築きながら、安全かつ安心と満足の得られる質の高い医療を提供することが使命であると考えています。引き続き住民の皆様の健康回復・増進、ならびに地域医療の発展に貢献してまいりますので、医療関係者の皆様方におかれましては、本年も変わらぬご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉・ 頭頸部外科の紹介

西川 周治 耳鼻咽喉・頭頸部外科
主任部長



西川 周治
(にしかわ しゅうじ)
耳鼻咽喉・頭頸部外科
主任部長

ご挨拶

2024年4月より市立ひらかた病院に赴任いたしました。専門は頭頸部がんを含む頭頸部外科手術で、大学病院外では内視鏡下鼻副鼻腔手術も多数の執刀・指導にあたってきました。当院では一般的な扁桃摘出術や、ナビゲーションシステムを導入した内視鏡下鼻副鼻腔手術、甲状腺腫瘍、耳下腺腫瘍などに対する頭頸部外科手術を重点的に行っております。また耳科手術については大阪医科薬科大学、音声外科手術については前任の大阪音声外科センター長のご協力を得、耳鼻咽喉科・頭頸部外科のさまざまな領域に対応できる体制を整えております。

近年、大学病院や一般の総合病院でも患者の皆様への認知を広げることを目的に「耳鼻咽喉科」から「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」や「耳鼻咽喉・頭頸部外科」などへ診療科名を変更する傾向にあります。当院でも2024年10月から「耳鼻咽喉・頭頸部外科」へと標榜を変更いたしました。「頭頸部外科」はその名前の通り、「頭と首」の外科で、「脳・目・歯・背骨を除く」頭の前から鎖骨の上までの外科手術を担当しています。「頭頸部外科」が診断・治療にあたる病気には「舌がんを含む頭頸部の良・悪性腫瘍」、「首の腫れ・しこり」として表現される病気である「リンパ節腫脹」や「頸部の腫瘍性病変」があります。耳鼻咽喉科・頭頸部外科の領域では、「腫れものの場所」によって、さまざまな腫瘍などが存在します。襟元であれば甲状腺、耳たぶの周辺であれば耳下腺、下あごの辺りであれば顎下腺などが腫れている可能性があります。そのほか、胎生期の遺残物として「正中頸のう胞」や「側頸のう胞」などの「のう胞（袋のようなもの）」もあり、感染により腫れの増悪や痛みなどを伴うことがあります。当院でも治療にあたっている甲状腺がんを含む甲状腺腫瘍、耳下腺および顎下腺腫瘍について簡単に説明させていただきます。

甲状腺は甲状腺ホルモンという新陳代謝を司るホルモンを作っている臓器です。ホルモン異常により腫れている場合と、腫瘍によって腫れている場合が考えられます。ホルモン異常については内分泌内科での治療となりますが、腫瘍の治療については手術治療が第一選択となります。病院により手術を行う診療科は耳鼻咽喉科であったり、内分泌外科であったりしますが、当院では耳鼻咽喉科・頭頸部外科が担当しています。良性腫瘍については3~4cmを超えるような大きなものが一般的には手術適応になります。悪性腫瘍については、組織の種類は様々ですが、多くは「乳頭がん」

資格

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医・臨床研修指導医
日本頭頸部外科学会認定 頭頸部がん専門医・指導医
癌治療認定医、補聴器相談医、難病指定医、身体障害者福祉法指定医、医学博士

略歴

大阪医科大学(現:大阪医科薬科大学)耳鼻咽喉科頭頸部外科 助教
大阪府済生会中津病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 副部長
大阪府済生会吹田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 科長

という比較的悪性度の低い病気になります。早期は無症状の患者さんが多いですが、進行すると声帯の神経麻痺による「声がれ」や、首のリンパ節転移による「首の腫れ・しこり」で発見されることもあります。

耳下腺の腫れは、「おたふくかぜ」などの炎症による耳下腺炎や、耳下腺腫瘍などがあります。耳下腺にできる腫瘍の9割程度と大部分は良性の腫瘍ですが、約半数に当たる「多形腺腫」は数年単位で見ると大きくなる傾向があり、また悪性の耳下腺がんへと変化することがあるため手術の適応になります。また、頻度は少ないですが悪性腫瘍も存在しますが、20種類以上の多彩な組織の種類があり、組織型により低悪性のものから、生命にかかわるような高い悪性度のものなどさまざまです。悪性度の低いがんの場合は診断も難しいこともあり、良性の腫瘍の一部を除き、耳下腺の腫瘍は手術での摘出が望まれます。また、耳下腺の中には顔面神経(顔の表情を作る運動神経)が存在し、顔面の表情筋に枝分かれして走行しているため、手術の際には顔面神経の枝などを確認して行うこととなりますが、良性の腫瘍の場合は一般的に後遺症となるような顔面神経麻痺が残ることはまれです。逆に耳下腺のがんであれば、進行により顔面神経の麻痺が出ることがあり、状況により神経を手術で腫瘍とともに切除しなければいけないこともあります。

顎下腺の腫れは、「おたふくかぜ」や「唾石症(結石)」による顎下腺炎や、顎下腺腫瘍などがあります。顎下腺腫瘍は、6割程度が良性腫瘍ですが、耳下腺に比べ悪性腫瘍の頻度が高いです。治療は耳下腺腫瘍同様に手術による摘出となります。良性腫瘍の大半は多形腺腫であり、悪性腫瘍のみならず良性でも手術が原則的に必要になります。また、近年は自己免疫疾患の一つであるIgG4症候群による顎下腺腫大も散見され、診断のために摘出術が行われることがあります。

以上のように、「首に腫れやしこり」には様々な疾患があります。「皮膚の下のおでき」などではなく、がんなど全身に関わる病気のこともありますので、お悩みの患者さんにはご遠慮なく耳鼻咽喉・頭頸部外科へご紹介ください。

Ten ひら10フェス報告

11月9日(土)、新病院開院10周年記念イベント「ひら10フェス」を開催しました。
当日は天気にも恵まれ、1,124名の方にご来場いただきました。

ひら10レインボー▶



講堂では

記念講演第1部として、「新病院の建設と10年の歩み」をテーマに前院長である森田 眞照特別顧問と宮垣 純一病院事業管理者による放談を行いました。また院長寄席では、「林 道廣病院長」改め「林家 毒太師匠」が高座に上って健康と健康寿命の大切さについて楽しく語り、会場を賑わしました。記念講演第2部では、ララライ体操でおなじみの藤崎マーケット 田崎 佑一さんにご自身の闘病生活の日々を、芸人らしく明るくお話していただきました。



放談



院長寄席



田崎 佑一さんトークショー

院内では

「ひら10フェス」の幕開けは和太鼓演奏からスタートしました。医療や健康に関するさまざまな企画として、手術室ツアー、薬剤師体験、X線透視中身当てクイズ、健康セミナーなどを行い、またお祭りには欠かすことのできない縁日コーナーや、しゃぼん玉ショー、マジックショー・歌とギター演奏など、大人から子どもまで幅広い方に楽しんでいただけました。



和太鼓演奏



健康セミナー



手術室ツアー



薬剤師体験



X線透視中身当てクイズ



縁日コーナー



しゃぼん玉ショー



マジックショー



歌とギター演奏

屋外では

よさこいチームによる躍動感あふれる力強い演舞、フラダンスショーでは、音楽に合わせて優雅に踊られる姿に心が癒されました。その他では救急車の展示、キッチンカーの出店など、心地よい秋晴れの下、様々な催しを行うことができました。



よさこい



フラダンスショー



ひら10キャラクターショー



救急車展示

ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました！

登録医療機関のご案内

当院と連携している
先生をご紹介します

先生
教えてください！

きたの眼科

開業の経緯

数年にわたり星ヶ丘厚生年金病院(現星ヶ丘医療センター)に勤務していたこともあって、なじみのある枚方市に20年前に開業いたしました。以来たくさんの方に支えられ、多くの患者さんとの忘れられない出会いもあり、あっという間の20年間でした。

また、市立ひらかた病院さんには、病診連携で大変お世話になっています。

患者さんへのアピールポイント

「目は心の窓」といいますが、まさにその通りです。眼だけでなく、患者さん一人一人の抱える不安や心配を少しでも和らげられるよう、家族を見るように患者さんを診ていきたいと心がけています。

また、開院当初より長年にわたって一緒に働いてくれているスタッフが、私の何よりの宝物です。個々の患者さんのことをよく理解し、私の診療をサポートしてくれています。

これからも、患者さんが少しでも長く、大切な家族や友人のお顔、美しい景色、おいしい食べ物などをご自身の目で見続けられるよう、尽力していきたいと思っています。

お困りのことがあれば、何なりとご相談ください。

趣味

ゴルフ、ガーデニング、旅行、食べ歩き、ジム、ピアノ、お酒、どれもこれも大好きです。

これからも、体力、気力、食欲の続く限り、続けていきたいです。



北野 保子 先生



住所 枚方市長尾元町2丁目1-10

電話番号 072-864-0202

診療科 眼科

医療機関ホームページはこちら



ひすい歯科

開業の経緯

2022年1月に枚方公園駅前に当院は開院いたしました。歯が生えただけのお子さんから、ご高齢の方まで地域の方々に貢献できる医院を目指しております。

当院の医院名である『ひすい歯科』の由来は枚方市の市の鳥である『かわせみ』の漢字表記である『翡翠』がひすいとも読めることから名付けました。

患者さんへのアピールポイント

当院では、痛みの少ない治療・丁寧な説明を心がけております。しっかり情報提供を行うことによって患者さんとコミュニケーションを取り、納得して頂いたうえで治療を行なっています。

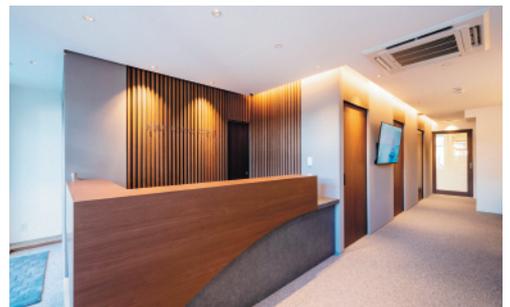
また、患者さん皆さんが一生自分の歯で健康に食事ができることを目標に予防歯科にも力を入れております。

趣味

旅行が趣味です。子育て中でもあるので、旅行に行った際には子どもが喜んでいるかという目線でも旅行を楽しめるようになりました。



大本 勝弘 先生



住所 枚方市堤町3-28ドミール枚方公園102

電話番号 072-843-6480

診療科 歯科

医療機関ホームページはこちら

